

## 患者さん 従事者 歯科医院 ユニットは誰のための機器？



デンタルユニットは歯科医院には欠かせない機器であり、治療の中心を担う重要な機器です。一方で、医療機器としての性能や安全性のみならず、歯科医院の中で患者さんに近い大型機器でもあり、歯科医院のコンセプトを表現する手段でもあります。私たちはこれらの要件が並立であることが必要だと考えています。では、並立に欠かせないデンタルユニットの要素とは何でしょうか？

### 診療環境の中心として

デンタルユニットは診療室の中心です。歯科医院の診療方針を表現する機器と言っても過言ではありません。デザインのみならず、清潔・安全が担保され、効率的で従事者がストレスを感じず、日々の労働意欲を高める機器である必要があります。従事者が働きやすい環境は、治療の質を高めるだけでなく、歯科医院の経営にも作用します。

### 医療機器として

デンタルユニットは術者が患者さんに最適な治療を提供する機器であることは言うまでもありません。適切な切削能力をはじめ様々な機能を使い易く装備され、衛生管理やメンテナンスが容易であり、耐久性が伴わなければなりません。治療の高度化に伴いデンタルユニットに求められる要件は複雑化しますが、それにはシンプルにまとめられ効率的かつ治療に集中できるように配慮された設計が欠かせません。すなわち人間工学的に考えられた設計です。

### 患者さん目線

デンタルユニットは患者さんが診療中に最も触れる機器です。診療室で目にしたデンタルユニットに患者さんは多くの印象を持ちます。治療への期待、歯科医院への信頼、安心や安全。そして治療中の快適性や円滑なコミュニケーションは、治療や歯科医院に対する満足度を高め、結果として歯科医院に対してロイヤリティを示します。

デンタルユニットの要素は患者・従事者・歯科医院それぞれに密接に作用します。医療の質を高め、よりよい治療体験を提供し、結果として、医学的な成功・自身や従事者の健康・経営的成功をもたらします。

**デンツプライシロナのトリートメントセンターは、  
患者さんの快適性、優れた切削性能、手間を掛けず実施できるハイジーンシステム、  
複雑化する要件を美しいフォルムに昇華させたデザインなど、「総合力」の高いデンタルユニットです。**

これまでのレポートを公開しています



### デンツプライシロナ株式会社

本社 / 〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布備成ビル  
www.dentsplysirona.com

#### ■各ショールーム

■札幌	Tel: 011-709-5800	■大阪	Tel: 06-6243-6636
■仙台	Tel: 022-266-4020	■広島	Tel: 082-546-2301
■埼玉	Tel: 048-799-2931	■福岡	Tel: 092-518-1800
■東京・銀座	Tel: 03-5148-7895	■盛岡	Tel: 019-604-2340
■横浜	Tel: 045-440-1521	■庄内	Tel: 0235-29-1217
■名古屋	Tel: 052-251-8467	■静岡	Tel: 054-653-2711

BT 6313PD

# TREATMENT CENTERS REPORT.

## 2020. January

東京都港区 内山歯科クリニック

院長 内山 徹哉 先生



# “ジェネラリスト”として広く深い治療を支えるものとは

東京都港区 | 内山歯科クリニック | 院長 内山 徹哉 先生

内山歯科医院 内山徹哉先生は“10年後も患者さんが笑顔で通える歯科医院”をコンセプトに掲げ、患者さんへのきめ細やかな説明と落ち着ける院内の雰囲気を作り、患者さん一人ひとりに合わせた適切な治療を提供する“包括治療”を目指している。内山徹哉先生の“ジェネラリスト”としての想いとこだわりを紐解いていきたい。

院内全体がナチュラルな色合いで、洗練された落ち着いた院内ですね。

“10年後も患者さんが笑顔で通える歯科医院”を実現するには、患者さんが自ら話してくれる環境が必要であり、患者さんと私たちスタッフ共にリラックスできる環境を作ることによってこだわりました。温かみと柔らかさを感じ、限りある空間でも窮屈さを感じない工夫をしています。当院では、詳細な治療説明と

精密な治療を徹底していますので、一人当たりの診療時間は平均1時間30分程掛かっています。長時間の診療が多いので、診療室もゆったりとスペースを取り、圧迫感を感じないように天井までの仕切りをせず、開放感のある窓を向いてユニットを設置しました。

長時間の治療が多いとのことですが、患者さん術者ともに疲弊しない工夫などありますか？

精神的な面での疲れが出ないための工夫は院内の空間作りにも拠るところが大きいですが、やはりユニットというのは肉体面に大きく作用します。患者さんにとっては、ユニットに座って苦しくない、辛くないという点が重要で、「座り心地がいいね」という声をいただくことが多いです。また、ユニットは患者さんにとっては目立つ存在なので、見た目のカッ

コよさも重要だと思っています。視覚から入ってきた情報は患者さんの気持ちにも作用すると思います。術者にとっては回転切削器具のパワーと精密性、フットコントローラーを使うことでハンズフリーで操作できる点、無影灯が明るい、など“意識せず”に使えるSinusは長時間の治療でも快適です。

快適性を重要視されていますね。

それは“10年後も患者さんが笑顔で”というコンセプトに繋がっているように思います。

そうですね。口腔内の健康を維持するためには、患者さんの意識も変わってもらわないといけないと考えています。そのためには、歯科医院という場所を患者さんにとってマイナスイメージのある場所にしないことが前提にあ

り、さらに患者さん自身が自分の口腔内の状態を理解することで、モチベーションが上がると考えています。口腔内の可視化をするために、当院ではマイクロスコープスコープを用いた治療を行っています。

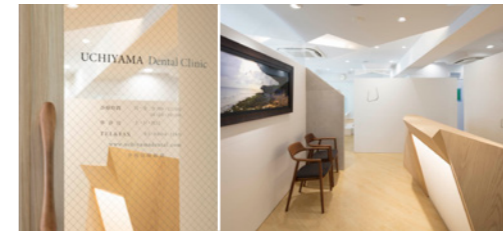


マイクロスコープをカウンセリングのツールとして活用されているのですか？

通常、マイクロスコープは根管治療で使用することが多いですが、当院では可能な限り削らず残存させるためにすべての治療に使用しています。同時に、ビジョナリートリートメントと言って、マイクロスコープを通した動画と静止画を患者さんと共有し、治療経過を説明するツールとしても使用しています。これは、患者さんにとって、不安を感じるの「どんな治療をされているかわからない」ということだと考えているからです。やはり、可視化されることで患者さんからも良いフィードバックをいただきますし、安心して治療を受けていただいています。

マイクロスコープとSinusの相性はいかがでしょうか。

まずは診療姿勢の観点からは、膝が背板の下に入るため患者さんとマイクロスコープと適切な距離と姿勢を保ちやすいことです。1時間以上の診療となると、術者も姿勢を保つのはつらいのですが、Sinusが導入されてからは格段に楽になりました。マイクロスコープはセットした後に動かすことはできず治療部位によっては患者さんの頭部を動かすことが必要になります。マイクロスコープを使用したすべての治療、形成やコア・接着などは厳密はポジショニングや緻密なヘッドレストの動きが要求されますが、Sinusの電動ヘッドレストは滑らかに動き患者さんに不安を与えませんし、手を使



東京都港区 内山歯科クリニック  
院長 内山 徹哉 先生

〈プロフィール〉  
2004年 東京歯科大学卒業

日本臨床歯科学会東京支部所属  
日本歯科評論「審美修復治療の実際」など多数の論文を寄稿。  
「IPS e.max Smile Award 2016」にて1st place受賞。



“ジェネラリスト”として必要な  
歯科医療機器の条件とは  
どのようなものですか？

私は“ジェネラリスト”として患者さんに適切な治療を提供することを心掛けています。ジェネラリストは“平均的で広く浅く”ではなく、“高いクオリティを広く深く”を追求しなければなりません。それにはユニットは様々な治療に適し、かつ使いやすく設計されている必要があります。総合力の高さが条件です。たとえば、患者さんの快適性を追求したクッション性のあるシートは、患者さんは良いかもしれませんが一方で術者が無理をして適切な診療姿勢を取れない、逆も然りです。患者さんと術者のどちらかが無理をしなければならぬ。これからの日本において、患者さんの相対数が増えて一人当たりの診療時間が短くなるということは考えにくく、むしろ今よりもっと時間をかけた診療にシフトしていくと思います。そうなった時にどういったチェアで診療するか、いかに快適性を得るか、という点は重要になってくると思います。私にとってユニットとは、武士で言ったら刀のようなものです。一日7-8時間、10年20年使っていくことを考えれば、シートの快適性、診療ポジションの適切さ、パワーのある切削、デザインなど、総合力の高いSinusを選択したことは、これから先も楽しい歯科医師人生を過ごすための投資だったと思っています。

